

「オドル ココロ」

資生堂のクリエイティブワーク

開催のお知らせ

資生堂ギャラリーは、2024 年 6 月 8 日（土）から 8 月 4 日（日）まで、資生堂のクリエイティブワークを紹介する展覧会「オドル ココロ」を開催します。

昨年、資生堂ギャラリーでは、資生堂のクリエイティブワークを紹介する展覧会「あいだ に あるもの – 1970 年代の資生堂雑誌広告から –」を開催しました。

今年は、明治初期から 2010 年代までに当社が世に送り出してきた資生堂のクリエイティブワークのなかから、心躍らせるパッケージデザインと広告デザインに注目し、商品展示、映像、音を通して「オドル ココロ」を複層的に表現する展覧会を開催します。開発担当者やデザイナーたちの遊び心やチャレンジ精神が発揮された 200 点以上に及ぶ商品、並びに広告約 70 点を集め、資生堂ギャラリーの空間にて圧倒的なスケールで紹介します。

展覧会「オドル ココロ」

アフターコロナとなっても先行き不透明な状況が続く一方で、現在を生きる人々のあいだでは、世代やジェンダーを超えて自分が好きなものを自由に取り入れ、自らの気分を上げて楽しむという軽やかな感覚が広まっています。こうした時代感覚に呼応し、「ココロがオドル」クリエイティブを資生堂のアーカイブからセレクトしました。明るさ、軽やかさ、ビビッドさ、ユーモア、遊び心、親しみやすさに加えて、未来的/Futuristic なイメージの商品や広告 300 点近くを一堂に集めています。そこでは、当時のパッケージとは一線を画するようなデザインから、自由で挑戦的な広告表現に至るまで、思わず心が弾む多彩なバリエーションをご覧ください。本展覧会で扱う商品、広告は、現在、資生堂企業資料館（静岡県・掛川市）で一般には非公開のものも数多く登場します。

展覧会の構成について

本展では、大展示室に明治初期から 2010 年代まで時代を 8 つに区切り、その時代に生まれた商品 200 点以上をクロニクルに展示します。展示台の造形は、気鋭の建築コレクティブ GROUP がデザインします。各時代において特に革新的だったといえる商品については概要や特長、デザインのコンセプトを現物と併せて紹介し、また、壁面には商品が生まれた背景が参照できるよう、時代の風俗を中心にまとめた年表を掲出します。

一方、小展示室では、ポスターを中心とした広告、約 70 点を取り上げ、映像インスタレーションとして展示

します。国内外のキャンペーンビデオなどで注目を集める新進クリエイター・長谷川大祐が本展のため新たに制作します。

また、資生堂ギャラリーの新たな試みとして、商品の開発に携わったクリエイターたちへのインタビューを音声ガイドとして用意します。彼ら、彼女たちの肉声を通じて、ものづくりに対する作り手たちの情熱やチャレンジ精神をお伝えします。

資生堂は、時代の息吹を感じさせる新しい商品を長きにわたり世に送り出してきました。そこには、アートとサイエンスを融合させ美しさを追求してきた歴史があります。それは確かな研究開発に支えられた大胆なアイデアや、既成の枠を超えたクリエイティブの遊び心や柔軟性あふれるチャレンジの歴史でもありました。これらの化粧品は手にとる人の心をとくめかせ、時にその時代のライフスタイルや美容習慣に変化をもたらしました。こうした資生堂のクリエイティブの歩みの一端を企画展として紹介することで、ものづくりや価値づくりに携わる方々への未来へ向けたさまざまな可能性やヒントとなれば幸いです。

展示商品（予定）について

創業まもなく資生堂がいち早く西洋から取り入れたアール・ヌーボーやアール・デコのスタイルでデザインされた「香油 花椿」、1950年代からは当時珍しかった女性のイラストが描かれた粉白粉、1960年代からはベビーブームに合わせた甘く可愛い色合いのベビー用品の数々、レジャーブームに乗って生まれ太陽をシンボライズした黄色いパッケージの「サンオイル」や「ビューティーケイク」、1970年代からは、当時流行した宇宙服的ファッションに通ずる感覚が見て取れる「シュラルー」、女子大生ブームや DC ブランドが流行した 1980年からは若年層に向けたきこやインク瓶などをかたどった容器に入ったミニサイズの「シャワーコロン」などを予定しています。

参考画像



粉白粉 1952年



サンオイル 1965年



シュラルー 1970年



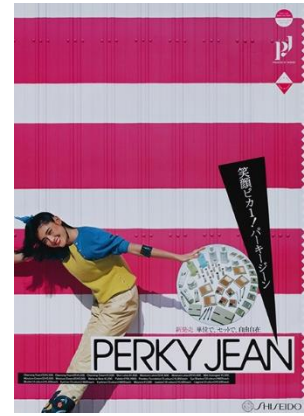
ベネフィーク 1972年



シャワーコロン ポケット きのこ 1985 年



pink pop 1968 年



PERKY JEAN 1982 年

■「オドル ココロ -資生堂のクリエイティブワーク-」展 開催要項

主催：株式会社 資生堂

会期：2024年6月8日（土）～8月4日（日）

会場：資生堂ギャラリー

〒104-0061 東京都中央区銀座 8-8-3 東京銀座資生堂ビル地下1階

tel. 03-3572-3901 fax. 03-3572-3951

URL: <https://gallery.shiseido.com/jp/exhibition/6707/>

(資生堂ギャラリー)

平日 11:00～19:00 日・祝 11:00～18:00

毎週月曜休（月曜日が休日にあたる場合も休館）

入場無料

■ 関連企画

関連企画の詳細については決まり次第、資生堂ギャラリーホームページにてお知らせします。

■ 本展に関するお問い合わせは下記までお願いします。

105-8310 東京都港区東新橋 1-6-2

株式会社 資生堂 アート&ヘリテージマネジメント部 担当：石田・豊田

tel. 070-3852-2782 (10:00～17:00 土日祝休)

e-mail: eri.ishida1@shiseido.com, keiko.toyoda@shiseido.com

■ 写真資料請求は下記までお願いします。

資生堂ギャラリー 担当：永田・大橋

tel. 03-3572-3901 (11:00～18:00 月曜休)

e-mail: ayako.nagata@shiseido.com, noriko.ohashi@shiseido.com